

音楽と文化

科目到達目標:種々の音楽を観賞、演奏し、それらが生まれた背景にある文化的・社会的事項を併せて学ぶ。

科目責任者(所属教室):中野 俊也(医学教育学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(月)	2	記念講堂	オリエンテーション	中野 俊也	医学教育学	「自分にとって音楽とは」を考える。	私と音楽
休講	10/10(火)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(1)	中野 俊也	医学教育学	G. Verdi作曲 歌劇「椿姫」を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	オペラの歴史、G. Verdi
3	10/16(月)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(2)	中野 俊也	医学教育学	G. Verdi作曲 歌劇「椿姫」を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	イタリアオペラ、ベルカント、人間の声、声種・声質
4	10/23(月)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(3)	中野 俊也	医学教育学	G. Verdi作曲 歌劇「椿姫」を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	舞台芸術、総合芸術
5	10/30(月)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(4)	中野 俊也	医学教育学	オペラ(演目未定)を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	Verdi以外のイタリアオペラ
6	11/6(月)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(5)	中野 俊也	医学教育学	オペラ(演目未定)を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	ドイツオペラ
7	11/13(月)	2	記念講堂	オペラ鑑賞(6)	中野 俊也	医学教育学	オペラ(演目未定)を鑑賞し、その魅力を探るとともに、背景にある文化等を学ぶ。	フランスオペラ
8	11/20(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(1)	中野 俊也	医学教育学	W. A. Mozart作曲 混声合唱曲“Ave Verum Corpus”を演奏し、合唱の楽しみを知る。	W. A. Mozart、合唱曲
9	11/27(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(2)	中野 俊也	医学教育学	W. A. Mozart作曲 混声合唱曲“Ave Verum Corpus”を演奏し、合唱の楽しみを知る。	ハーモニー、チームワーク
10	12/4(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(3)	中野 俊也	医学教育学	“Ave Verum Corpus”のラテン語歌詞を題材として、種々の医学用語の語源に触れる。	ラテン語と医学
11	12/11(月)	2	記念講堂	オペラ以外の音楽鑑賞(1)	中野 俊也	医学教育学	器楽曲あるいはオペラ全曲以外の声楽演奏を鑑賞し、様々な音楽の魅力と背景文化等を知る。	器楽曲、管弦楽、室内楽
12	12/18(月)	2	記念講堂	オペラ以外の音楽鑑賞(2)	中野 俊也	医学教育学	器楽曲あるいはオペラ全曲以外の声楽演奏を鑑賞し、様々な音楽の魅力と背景文化等を知る。	歌曲、宗教曲
13	12/25(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(4)	中野 俊也	医学教育学	合唱曲(曲目未定)を演奏し、合唱の楽しみ、皆で協力して創造する喜びを知る。	日本の合唱曲、日本語の魅力
14	1/15(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(5)	中野 俊也	医学教育学	合唱曲(曲目未定)を演奏し、合唱の楽しみ、皆で協力して創造する喜びを知る。	世界の合唱曲
15	1/22(月)	2	記念講堂	合唱の楽しみ(6)	中野 俊也	医学教育学	合唱曲(曲目未定)を演奏し、合唱の楽しみ、皆で協力して創造する喜びを知る。	クラシック以外の音楽

受講者の希望も参考にしながら、取り上げる音楽を決定する。

教育グランドデザインとの関連:1、5、6

学位授与の方針との関連:1、3、4

評価:定期試験 行わない

小試験 行う可能性がある

レポート 50% (提出期限に遅れた場合は0点とする。「インターネット等からの単なるコピー&ペースト」や「他人のレポートの丸写し」等の手抜きレポートも0点とする。)

受講態度 50% (授業の特性上、受講態度を最重視する。病欠、忌引等の正当な理由がある場合を除き、全出席、遅刻なしであることを単位認定条件とする。病欠、忌引等の証明には医師の診断書、会葬御礼状等を要し、これらの文書が提出された場合もその内容の正当性を厳重に検証する。)

参考書: ①「CD付き もう一度学びたいオペラ」(西村 理 監修、西東社)

②「CDで聴く 一冊でわかるクラシック音楽ガイド」(後藤真理子 監修、成美堂出版)

その他(重要): 受講態度を重視する。受講態度の悪い学生は真剣に取り組む学生に多大な迷惑を与えるので、鑑賞、実技とも、真剣に取り組まない場合には評点を厳しく減点する選択科目であるから、真剣に受講できない学生は選択しないこと。